

## サイアム・フルカワ カンパニー (タイランド) の現況

### The Present Status of SIAM FURUKAWA CO.,LTD (Thailand)

星野 清孝\*

Kiyotaka Hoshino

#### 1. サイアム・フルカワ・カンパニーへのアクセス

バンコック市内から、高速道路を経由してパラホンヨーテン道路に入ります。そのままサラブリ方面に進み、街並みを抜けると、両側に田園風景が広がり始め、ノンケーシティーの手前を左折し10分程行くと、広大な近代的工業団地である「サイアム・セメント・インダストリアルランド」に至ります。その工業団地の奥まった一角に、ひときわ目立つ高い屋根を持った近代的な「サイアム・フルカワ・カンパニー」の新工場があります。バンコック市内からサイアム・フルカワの工場まで車で走って約1時間強の道程であります。写真1に新工場の外観を示します。



写真1 新工場の外観  
Photo 1 Appearance of the new plant

#### 2. 新工場の最新鋭設備

工場の門を入ると、右側に厚生棟、正面に南洋植物の植え込み、左側に小さな池を取り巻く芝地、樹木に沿って白い瀟洒な2階建ての事務所が見られ、正面の南洋植物の植え込みの向こう側には90(幅)×222m(長さ)の工場の一部側面が見られます。

この新工場建設に当たっては、サイアム・フルカワ・カンパニーと古河電池(株)との共同プロジェクトチームが結成され、“清潔さと環境”を守り、“世界トップレベルの品質”を送り出すことを、建設の目標といたしました。この工場には、世界最新鋭の設備と、古河電池によって開発された新生産設備、新検査設備が多数導入されました。旧ミンプリ工場からの一部設備の移転も1997年7月には完了し、新工場での全面操業がスタート致しました。

新工場建屋は、体感温度を出来るだけ低く抑えるため工場建屋の屋根を高くし、屋根裏には断熱材を配し、側壁からの通風を良くしたこと等の効果により、暑い国の工場とは思えない程、快適で良好な作業環境を作りだしております。また、この工場は、将来の需要増に对应できるように自動車用電池で年産250万個の生産に対応出来るように設計されております。したがって、将来現有設備の生産能力を超える需要となった場合でも、増産のための新設備が即座に設置できるためのスペースが確保されており、特別な基礎を要求される設備のための特殊基礎も施工済みとなっております。

弊社を訪問され、工場見学をしていただいた多数のお客様から、今まで見たバッテリー生産工場の中で、最も清潔で近代的な工場であるとの高い評価を頂いております。写真2に工場の生産工程(グリッド・キャストイング工程)を示します。

\* SIAM FURUKAWA CO.,LTD



写真2 生産工程(グリッド・キャスト工程)  
Photo 2 Production line of grid casting plant

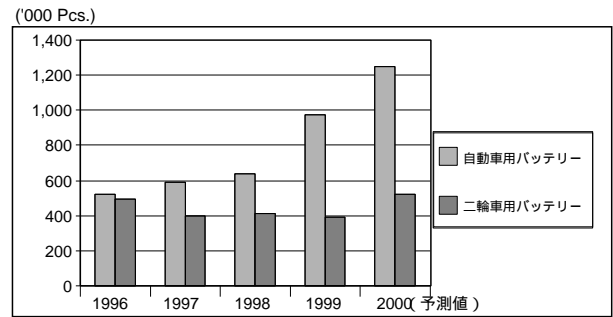


図1 自動車・二輪車用バッテリーの販売推移  
Fig. 1 Sales volume of automotive and motorcycle batteries

### 3. 生産と品質管理

1997年タイに端を発したアジア通貨危機による経済リセッションの影響を弊社も受け、新工場での全面操業後、しばらくは販売量が微増に留まり、1999年度前半までは新工場の生産能力を十分に活用することが出来ませんでした。しかしこの間、

- 1) 新設備を効果的に活用して、より高品質な製品をお客様に届ける
- 2) 新工場の設備、そこで生産された製品の優秀さを直接お客様に見て頂くための工場見学会の実施
- 3) 新工場操業開始と共に発売開始した「F Bブランド」の知名度アップ等の活動をして参りました。

その結果、国内外のお客様から、弊社製品に対しての高い評価を頂くと共に、それに相応して「サイアム・フルカワ・カンパニー製 F Bブランド」もタイ国内に広く知れ渡るようになりました。今やF Bブランドは、タイ国内バッテリー市場のトップブランドに成長致しました。これらお客様からの、弊社製品に対する高い評価と販売活動の成果により、1999年度の生産/販売量は、前年度比で補修市場向け、新車メーカー向け、輸出共に夫々大幅増となり、全体で前年比152%の伸びとなりました。また、2000年度においても、前年度比で130%前後の販売増が見込まれます。図1に自動車用電池と二輪車用

電池の販売推移を示します。このような需要増に対して客先からの要求に充分応えられるよう、年初より昨年度の自動車用電池生産能力を100万個/年から150万個/年に引き上げるための諸施策を実行して参りました。

品質面については、各生産工程の不良率低下、品質レベルの向上に日々取り組んでいることはもとより、市場においてクレームとして処理された電池は全て回収、それらを週単位で調査解析し、品質改善アクションにつなげるシステムを確立しました。P D C Aを途切れることなく確実に回しております。

また、今年度からは「購入部品の品質問題の絶滅と品質向上」と「納期遅延問題の改善」を目指して、メインサプライヤーとの月次の改善対策会議をスタート致しました。この対策会議を通じて、サプライヤー及び弊社の品質改善意欲が更に高まり、それが弊社のカンパニー方針でもあるCS向上に、大いに寄与するものと確信しております。

技術開発部門では、国内外の客先からの多様化する要求に対応する新モデルのための仕様書発行、開発のためのテスト等に迅速に対応しております。これら新モデルの開発、テスト、評価等については、必要に応じて親会社である日本の古河電池の技術部門、関係部門と密接な協力関係で進めております。

#### 4. MF(メンテナンスフリー)電池の取り組み

現在のタイ市場における自動車用バッテリーは、殆どがコンベンショナルバッテリーであります。日系自動車メーカーのタイ市場向けに新車搭載されているバッテリーについても、現在は1車種のみ昨年度よりハイブリッドバッテリーが採用されているに過ぎません。

しかし弊社は、お客様に“補水の手間”を少なくすることの出来る、より良い電池を使って頂くために、先ずは今年度末に乗用車向けのハイブリッドバッテリーの発売を開始する予定であります。

このような中で、近年タイ国内の日系自動車メーカーの2~3年後の新モデルカーに搭載するバッテリーについては、MF電池での引き合いが多くなって参りました。タイにおいてもいよいよMF電池の時代が到来し、採用の気運が感じられます。弊社は、タイにおいても近い将来、お客様のニーズはCS向上に繋がる“電解液入りMF電池”に変わっていくことを想定し、以前からMF電池のタイでの市場テストも実施してまいりました。コスト競争力のあるMF電池生産のためには、新規設備、一部生産工程の新設が必要となりますが、その調査検討も進めて来ております。この50周年記念号が皆様のお手元に届くころにはその検討も完了し、いつでも新設備等の発注と新設生産工程の工事に着手出来る段階に進んでいるものと思います。

二輪車用制御弁式電池については、現在は1品種(FTX5L)だけの生産ではありますが、数年前より生産を開始し日本にも輸出を行い、日本のお客様にご愛用頂いております。また、今年度よりタイの日系二輪車メーカーにも納入が開始されました。二輪車用制御弁式電池についても、近い将来タイ市場においても日本と同様に一般化することを期待したいと思っております。

#### 5. ISO取得への取り組み

弊社は昨年よりISO 14001取得のための作業に着手し、2000年度の全社活動方針の一つとしてISO 14001の認証取得を掲げ、その取得作業を進めて参りました。本年4月にISO 14001取得の運びとなり、市当局を初めとした関係者を招待し、認証式を挙行、関係者と共にお祝いを致しました。写真3に認証式の模様を示します。



写真3 ISO 14001認証式  
Photo 3 Celebration of the acquisition of ISO 14001 certificate

続いて、弊社製品の品質についてより信頼性を高め、お客様により高い信頼感を持って弊社製品をご愛用頂けるようにQS 9000そしてISO 9001を2001年度中に取得すべく、本年5月よりその作業に着手しました。2001年の今頃には、両認証の取得を皆様にご報告出来るものと思います。

最後に、この紙面を借りて弊社製品をご愛用していただいているお客様のご支援に心から感謝申し上げます。サイアム・フルカワ・カンパニーは、ここでその一端をご紹介させて頂いた諸活動、そしてお客様からのご要望、アドバイスを通じてより一層のCS向上に努力して参ります。どうぞ変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。